



ことりだより

Vol.1

2024.4.1

株式会社 Family Feelings
訪問看護ステーションことり

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、このたび訪問看護ステーションことりでは、事業所の案内やサービス提供に関しての定期的な情報ツールとして「ことりだより」を発行しました。

第1回目は看護師の視点からみた高齢者が抱える生活課題について取り上げています。



—地域で暮らす高齢者が抱える生活課題—

地域で生活されるご高齢の方は、加齢に伴う身体能力の変化や認知症、慢性疾患等を抱えながら生活されています。生活では、疾患に対する不安や症状の増悪による手段的日常生活動作の低下や苦痛による活動量の減少によるADLの低下など、それまで自身で行えていたセルフケアが一つの障害を起点として、様々な事に影響し悪循環を生じてしまう場合があります。

セルフケアを破綻させる要因の一つとして挙げられるのが服薬管理になります。内服薬は、対症療法的に服薬するものや長期的な症状コントロールを目的に服薬するものなど様々なものがあり、適切な服薬管理ができないことで身体的な健康障害や症状の増悪につながる可能性があります。

「この方はきちんと内服できている」 それは本当にエビデンスがありますか？！

「私は大丈夫、きちんと飲めています」という方でも実際に残薬を確認すると、飲み忘れや過量内服している場合があります。特に、生活が不規則で多くの薬を内服している場合や生活が単調である場合にこのような事が起こっていると考えられます。

先にも述べたように、この服薬管理の破綻により、セルフケア障害につながり、それが健康に影響を及ぼすので適切な服薬管理はとても重要です。

このような課題の解決方法は様々な方法がありますが、大きな問題は、問題が課題として明らかになっておらず、潜在化（本人も含めて周囲も認知できていない）していることにあります。



もう病気は大丈夫
だから飲まなくて
もいいかしら



訪問看護では、潜在化している問題もケアをとおしてのコミュニケーションから明らかにできます。また、「看護の力」により、原因を医学的側面と生活面での視点から捉え、その方にあった最も良い方法を一緒に考え、課題解決に向けたアプローチを図ることができます。

ぜひ、ご活用いただければ幸いです。気になることがあればぜひご相談ください。



訪問看護による健康チェックと服薬管理の紹介

訪問看護では、健康チェックに加えて服薬管理を行うことで内服に関連した身体状況の把握を行い、異常の早期発見や対応、適切な内服習慣につなげることができます。

<健康チェック>

- ・バイタルサイン測定
- ・フィジカルイグザミネーション（身体診察）
- ・健康に関する相談等



<服薬管理>

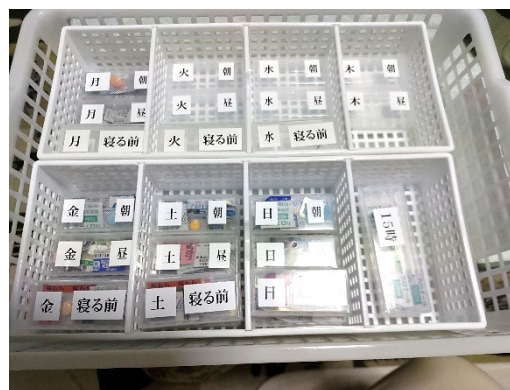
- ・定期内服の服薬状況の把握
- ・残薬チェック

薬剤名	未分包	分包	実際	予定
			残薬量	残薬量
アムパロ配合錠「サンド」	5	13	18	18
シンバスタチン錠5m g	0	13	13	18
ラベプラゾールNa10m g	11	13	24	18
オロパタジン5m g	168	49	217	36
アルファカルシドールカプセル0.5μ g	34	13	47	18
酸化マグネシウム錠330m g	411	98	509	54
リポフラビン酪酸エステル20m g	91	98	189	54

- ・服薬カレンダーの導入



- ・配薬 BOX による週間配薬



- ・内服薬に関する相談対応

<生活課題の把握>

訪問看護をとおして利用者様とコミュニケーションを図る過程で、生活上の課題が見いだせる可能性があり、明らかになった課題については、様々な職種・事業所と連携を図り、社会資源の活用へとつなげ課題解決を図っていくことができます。



訪問看護ステーションことり
有田市宮崎町580番地8
TEL:0737-23-8370